

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピー柏教室			
○保護者評価実施期間	2025年 7月 25日		～	2025年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59	(回答者数)	51
○従業者評価実施期間	2025年 7月 23日		～	2025年 7月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様が楽しく通える場所となっている。	支援ではお子様が飽きないように様々な内容を取り入れている。季節のイベントや、来所特典がもらえるサービス等、支援以外で楽しめることを考えている。	引き続きお子様が楽しめる内容を検討していく。地域の情報収集を行い、柏市のできる外出イベントを増やしていく。
2	保護者様との関わりが多い。	近況をお伺いするために、なるべく職員の方から声をかけるようにしている。そこでお悩み事を把握しアドバイスをしたりするようにしている。また、保護者様同士の関わりを増やすために、定期的に茶話会の開催をしている。	普段の支援のフィードバックで、お子様の内容だけではなく、保護者様自身のお話を伺うことで、より安心して話せるような関係づくりを行う。
3	要望をすぐに反映できる。	保護者様から伺った内容を職員間で共有し、今後の対応について即座に検討している。	園訪問のご要望には時間を要してしまうこともあるため、今後は職員間での共有方法を見直し迅速に対応できるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団でのスペースの確保が難しい場合がある。	集団の人数が多い。	同じ集団の中で部屋を分けて対応するよう動き始めている。また、モニタールームも保護者の見ているスペースがない状況があるが、モニタールーム以外でタブレットに映像を接続できるような環境を整えている最中である。
2	人数が多い集団の際は保護者のご意見を詳しく聞けないことがある。	人数が多く、その日の様子を伝えることで時間が過ぎてしまう。また、支援時間が延びて終了することがあり、次の支援の兼ね合いで保護者様とじっくりお話をする時間が取れないことがある。	支援終了時間を守り、保護者様とお話の時間を大切にす。人数が多い集団の支援時間裏で、順番で保護者様にお子様の近況や支援に対するご要望等についてお話をじっくり伺える時間を設けていく。
3	言語聴覚士等の専門性を持った職員がいない。	会社に在籍している母数が少ない。	会社に在籍している有資格者への相談を日頃から増やし、特定のお子様に合った支援方法と一緒に検討していくことで職員の学びの機会を増やす。また、地域の事業所との関係を深めることで、地域全体で支援をしていけるように関係性を構築していく。